**フェスタ実行委員会構成団体アンケート**

参考資料２

※回答数n=15（うち出展団体９・未参加団体６）

問１　貴団体がフェスタ参加者に伝えたかったことは、どのような内容ですか。

|  |
| --- |
| **○神奈川県教育委員会(県立特別支援学校)**  ・「ボッチャ」を中心としたパラスポーツの体験を通じて、ともに支え合う共生社会の実現に向けた人と人とのつながりの大切さを感じてもらう。  ・「県立特別支援学校」の存在や取り組みについて知ってもらう。  **○ N P O法人カラーユニバーサルデザイン機構**  ・人の色の見え方は多様であり、情報伝達の際に不便である場合があること。  色覚の多様性に対応した色使いが進められていること。  **○神奈川トヨタ自動車株式会社**  ・様々な身体状態の方がいる中で、その方の気持ちを少しでも感じていただくことで  日常生活や業務等、様々なシーンで関わり方や心持ちを考えるきっかけとなる事  **○神奈川県消費生活課**  ・典型的な消費者トラブルの事例や詐欺の手口等の知識について  ・消費者トラブルのおそれがある場合の相談先（消費者ホットライン１８８）について  **○神奈川県スポーツ課**  すべての人が自分の運動機能を活かして同じように楽しみながらスポーツをする、観る、支えること＝「かながわパラスポーツ」を誰でも気軽に楽しめるスポーツ体験を通じて伝えることを目的としている。  また、来年開催の東京2025デフリンピックについて、ブースに来てくれた人に普及啓発グッズ配布やイベント周知等を通じて大会の認知度向上・気運醸成を目的としている。  **○（公社）かながわ住まいまちづくり協会**  安全で安心な住まいと住まい方について  **○神奈川ライトハウス**  　街中で視覚障害者がいたら気軽に声掛けを行って欲しいこと。  **○神奈川県視覚障害者福祉協会**  ・マッサージなどの施術は免許保有者は行うこと  ・無免許業者が存在していること  **○日本司法支援センター神奈川地方事務所**  ・お困りごと対して、法的サポートにより解決しうること |

問２　フェスタでは、参加者に伝えたいことを伝えることができましたか。次の中からあてはまるものを１つ選んでください。（○は１つ）　　　　　　　　　　　　　　　　　 （n=９）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １　伝えることができた**(８)** | ２　分からない　**(１)** | ３　伝わらなかった |

【問２で「２分からない」「３伝わらなかった」とお答えの方に】

問２－２　伝えることができなかった理由は何ですか。（○はいくつでも） (n=1)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １　内容が難しすぎた | ２　内容が簡単すぎた | | ３　相手に興味がなかった **(1)** |
| ４　当日の対応時間が足りなかった | | ５　フェスタの準備時間が足りなかった | |
| ６　その他　**(1)**（　スタンプの押印と景品集めが主目的となっていた。ただし、法的トラブルを抱えていたい為に相談事がなかったのであれば逆に喜ばしい。） | | | |

問３　各団体のコーナーで、良かった企画や工夫がありましたら、自由に記載してください。

|  |
| --- |
| ・出展団体さんに毎年お会いできることが良い点だと思います。そして、顔が見えたり、一つのイベントを作り上げてるところが、参加していて楽しいです。  ・自動車販売店の高齢者妊婦体験－体験した子どもを通じて、同行の家族の方が興味を持つ様子が見られたので。  ・体験できる備品があることで、体験しながら理解してもらえるのでとても良かった。  ・例年、同じようなクイズを行う中でも少しずつバージョンアップを重ねており、クイズを進行する側の方でも実際にやってみると当初は上手く伝えられない・難解なように思うといったことがあったがそうしたことはほぼ無くなったように思う。また、当日中にその場で情報を追加できる体制を取れたことも大きかった。  ・認知症体験でVRを使用して当事者体験ができるブースがあり、動画視聴のみをするよりも様々な年齢層の方がやってみたい！と思わせる工夫を感じました。  ・今回かながわパラスポーツ体験で使用した「ラダーゲッター」については、まだメジャーではなかったこともあり、珍しさで立ち寄っていただける方も多かった。また、小さい子ども等でも力をほとんど使わず出来るので、概ね好評と、かながわパラスポーツの「自分の運動機能を活かして同じように楽しみながらスポーツをする」について、実感はあったものと捉えている。  ・トヨタモビリティ神奈川の体験コーナー  ・手話のところで映像を取り入れながら行っていたのは良いと思った。  ・スタッフの人数が少ない中、運営とブースの人の遣り繰りで他の団体コーナーをゆっくりと見学する余裕がなかった。 |

問４　貴団体において、今回のフェスタで行った広報を記載してください。（○はいくつでも）(n=14)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １ | 団体内への広報用ちらし配布 | **(８)** |
| ２ | 広報用ちらしの一般配布  （配布場所：綾瀬市役所、ともしびショップむー、事務所内　来客時、10/27「横浜ﾏﾗｿﾝﾌｪｽﾀ」、関係しているボランティアなど、所属各団体　） | **(５)** |
| ３ | インターネットでの告知  （広報手段：ホームページ・Ｘ(旧Twitter)・Facebook・その他（神奈川県手をつなぐ育成会理事会メール・HP、メーリングリスト「カモメメール」に掲載） | **(４)** |
| ４ | 広報媒体への掲載  （具体的な広報媒体：かな視協便り9月号・10月号） | **(２)** |
| ５ | テレビやラジオなど、マスコミを使った告知  （具体的な広報媒体：　　） |  |
| ６ | その他  （・地域団体で会合開催時に広報した  ・校内掲示板でのチラシ掲示、校内打ち合わせ掲示板での職員への周知  ・社内広報部からの社内展開、関係メディア展開　　　　) | **(３)** |
| ７ | 広報は実施していない | **(３)** |

問５　次回フェスタが開催されるとしたら、また参加したいと思いますか。あてはまるものを１つ選んでください。（○は１つ） (n=14)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １　参加したい **(７)** | ２　分からない **(６)** | ３　参加したくない **(１)**　４　未回答 |

【問５で「２分からない」「３参加したくない」とお答えの方に】

問５－２　参加したいと思えなかった理由は何ですか。（○はいくつでも） (n=６)

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | 準備する時間がない | ２ | スタッフが確保できない **(４)** | ３ | 予算がない **(１)** |
| ４ | 団体の取組みとフェスタの趣旨が違った **(１)** | ５ | 効果が少ない　 　**(１)** |  |  |
| ６ | その他　　**(３)**  （・UDタクシー車両の展示が有効と考えるが会場となる新都市プラザには車両の搬入ができないため。  ・周知機会として活用していきたいものの、来年度の業務状況により、確約が難しいた  めです。  ・ブースの運営について、参加者に対してアピールするより、関係団体の関係者と連携  強化を進める方が結果として自団体に影響が強いのではないかと思われる。　　　） | | | | |

問６　今回も、そごう横浜店９階に加えて地下２階新都市プラザでも実施しましたが、開催場所や会場の活用方法について、御意見がありましたら、自由に記載してください。

|  |
| --- |
| ・地下のほうも帰り際に見ました。なかなか9階までの誘導にはつながらないかもしれません  が、何かがあることだけ知っていただけたらいいですね。  ・パラスポーツの紹介が他の場所でもあったので、近くでまとめられるとよかった。  ・案内掲示が1枚でもあれば、お伝えしやすかったと思う。  ・９階と地下２階とでは物理的な距離のあり、お互いの様子がわからないように思う。例え  ば、それぞれの会場の様子を中継して、客入りがなどの状況が分かるようにしてみてはいか  がか。  ・地下２階新都市プラザで出展しましたが、通行者が別途目的地等があり、足を止めてもらう  のは容易ではないものと感じる一方、不特定多数の目に留まるメリットはあると思っていま  す。出展内容に工夫の余地はあると思いますが、今後も地下２階でもスタンプラリースポッ  トを１か所設けて、９階に流していけるような会場の活用は、一定程度効果的なものと考え  ています。  ・地下２階で９階のリアル映像を映すなど、「９階へ行ってみよう」と感じてもらう仕掛けが  必要だと思います。  ・天候のこともあり来客数が少なかったように思う。  ・地下２階を見学に行く余裕がなかった。 |

問７　前回に引き続き、「介護フェアinかながわ」と同時開催し集客増加を図りましたが、こうした他イベントとの同時開催についてどう思われるか、自由に記載してください。

|  |
| --- |
| ・バリアフリーフェスタのみの開催では、やはり集客力が少ないように思います。今回のように、他との同時開催がベストだと思います。  ・とても良いことだと思います。介護もバリアフリーも地域の福祉をよりよくするものなの  で、いろいろなブースも見れてよかった。これからも同時開催がいいと考えます。  ・足を運ぼうと思うきっかけができて、通りかかってくださる方さえいればPRはできるので、  そのきっかけ作りのために他イベントとの共催には賛成する。  ・関連付けられるイベントとの同時開催はとても良いと感じました。特に、今回のバリアフ  リーと介護には、日常の移動に関する面や行政や福祉の手を借りるシーンが多くなる等共通する課題もあり、集客以外にも同時開催にメリットがあると感じられました。  弊社では高齢者疑似体験も実施した関係から、介護フェアにいらしていた方がブースに訪  れる方も多く、ご家族（お母様・お父様）の気持ちが分かったとのお声も多数聞こえてきま  した。  ・単独開催よりも良いと思います。  ・来客が増えるのであれば、同時開催もよいと思う。  ・介護フェアとの同時開催については、介護する側・される側の様に双方の立場からのアプ  ローチが可能となることから有意義ではないか。 |

問８　その他、御意見や御感想などありましたら、ご自由にお書きください。

|  |
| --- |
| ・毎年、出会える方たちにとても刺激をいただいております。県のスタッフの方たちもお疲れさまでした。今回は、合理的配慮のことを勉強する機会をいただきありがとうございます。  ・長机やいす等の借用物品の搬入・搬出の際、付き添いの職員の方がいる上での作業だったが、お一人での対応だったため時間がかかった。職員の方にも運ぶ段取りを確認していただいておくと、他団体の方々も含め、スムーズに準備や片づけが進められるかもしれない。職員が付く形ではなく、台車を２～３人で運べるようにすると事故もなく、効率よくできるのではないか。  ・バリアフリーという言葉を説明するのでなく、ボッチャを体験しつつ「誰でも出来るのですよ」と説明したのがほとんどだった。幼児から高齢者までやってみようかなと思ってもらうきっかけ作りがポイントで、アピールやコーナーへの入りやすさが重要だと感じた。  ・チラシ配布や呼び込みの場所で施設の方から注意を受けたが、もう少し通行中の方に声をかけられないものかと思った。  ・場所と介護フェアとの同時開催とそれぞれが良くないとは思いませんが、それぞれと親和性  がないコンテンツになってしまっているように思いました(これは当機構で実施しているCUD  クイズについての話です)。クイズは家族層に向けたもので(特に小さなお子さんを対象と考  えていたが)、実際にはほぼそういう客層ではありませんでした。  ・支援学校の先生や各ブースのスタッフの皆様にお伝えできたのは大きいことと感じました  が、それ以外は介護プラスαで何か情報をついでに知りたいという方で、クイズのように時  間とスタッフ数が掛かる形態でなくとも展示＋少数の説明員で十分だったように感じまし  た。  ・今回は、お声がけいただきありがとうございました。  弊社は初の参加、そして室内イベントは部として初めてのケースとなり、試行錯誤しながら  の当日となりましたが、他ブース含め勉強になる事も多い一日となりました。  参画団体も多く、当日までの準備や段取り、一大イベントだったのではないかと存じます。  大変お疲れ様でございました。この度はありがとうございました。  ・開催日が土曜日であったり、連休中であるため、スタッフの動員が難しいので、日曜日や連休を避けて行って欲しい。 |